

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2101

## 科目概要記入欄

|                  |   |                                    |   |                    |         |
|------------------|---|------------------------------------|---|--------------------|---------|
| 1. 開設大学          | 広島大学 生物生産学部   |                                    | 開催方法  | ■対面（東広島キャンパス）      |         |
|                  |   |                                    |   | □オンライン（同時・録画・資料提示） |         |
|                  |   |                                    |   | □その他（ ）            |         |
|                  | 正式科目名<br>副題   | 農場の四季を通して生命のサイクルを<br>体験するフィールド科学演習 |   | 配当年次               | 1, 2, 3 |
|                  |   |                                    |   | 受入学年               |         |
|                  | 学問分野  | 番号                                 | 33  | 名称                 | 農学      |
| 3. 担当教員名         | 黒川勇三・妹尾あいら・鈴木直樹   |                                    |   |                    |         |
| 4. 単位数           | 2 単位  | 5. 開講学期                            | 前期・後期（計 8 日間）   |                    |         |
| 6. 開講期間<br>曜日・時間 | 令和 8 年 5 月 9 日（土）～ 令和 8 年 12 月 12 日（土）<br>土曜日の 13:00～16:00 計 8 日間   |                                    |   |                    |         |
| 7. 基礎知識の有無       | 1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ）<br>②. 「基礎知識を必要としない科目」  |                                    |   |                    |         |
| 8. 募集人数          | 20 人  | 9. 選考方法                            | 受講希望者が定員を超えた場合は、受講希望理由の内容を検討した上で、低学年の学生（本演習体験を所属大学の授業に生かす可能性が高い）から選抜する。 |                    |         |
| 10. 科目内容・授業計画    | <p>広島大学酪農エコシステム技術開発センター（以下、農場）では、大地と家畜からのめぐみによって食料を生産している。春には、前年の秋に播種した牧草を収穫してサイレージなどの保存飼料を生産する。秋に妊娠した雌羊は春先に子羊を生む。桜の花が散る頃に成羊は毛を刈られ、その毛は毛糸やフェルトに加工される。一方、乳牛は 1 年を通してすべての季節で子牛を産み、乳生産を開始する。家畜生産は四季の移り変わりとともに成り立っているのである。本演習は、受講生が四季を通して農場の家畜や牧草に直接触れ、生産を体験し、家畜の命と食料生産のサイクルを学ぶことを目的としている。</p> <p>※様々な感染症の拡大状況や、天候不良等により、開講の中止や、以下の計画の内容の一部変更、日程の変更等を行うことがあります。また受講希望者が 5 名以下の場合は開講を中止する場合があります。</p> <p>・演習計画（予定）<br/> 5 月 9 日（土）羊の毛刈りをする<br/> 5 月 16 日（土）春の牧草地を見る 1+子牛の誕生について学ぶ<br/> 6 月 13 日（土）乳牛の行動観察から「人と家畜の関係」と「家畜の福祉」について考える<br/> 7 月 11 日（土）from farm to table を俯瞰する<br/> 10 月 17 日（土）4 月に刈った羊毛を加工する（フェルトづくり）<br/> 10 月 31 日（土）秋の牧草地を見る+乳牛と肉牛の子牛の成長を学ぶ<br/> 11 月 21 日（土）乳牛の乳搾りをして、搾った牛乳からバターやチーズを作る<br/> 12 月 12 日（土）寒い冬の家畜と草地 農場の四季のまとめ</p> |                                    |   |                    |         |
| 11. 試験・評価方法      | 受講態度、発表、受講後のレポートで評価する。農場のフィールドを活用した演習なので、農場の規則を守れない受講者は不可となる可能性があります。   |                                    |   |                    |         |
| 12. 別途負担費用       | 参加費用は原則徴収しませんが、生物生産学部附属農場までの旅費・交通費は自己負担です。  |                                    |   |                    |         |

|                    |   |                   |                   |
|--------------------|---|-------------------|-------------------|
| <p>13. その他特記事項</p> | <p>●受講人数：20名程度<br/>         本授業科目は、広島大学と他大学の学生（専門学校・高専の学生を含む）のために開講されるものです。受講者多数の場合は、本演習の体験をその後の自大学の授業で生かす機会の多い、低学年の学生（1,2年生）から選抜します。<u>一度受講が認められた方は、くれぐれもキャンセルには慎重になってください。受講できなかった人のことを考慮してください。事前に自分の予定と演習の日程を調整した上でお申し込みください。</u></p> <p>●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入してください。</p> <p>●集合日時：各回13時00分までに生物生産学部附属農場に集合してください。<br/>         JR西条駅から広島大学行きのバスに乗り、「池の上学生宿舎前」で下車してください。バス停から徒歩で15分程度です。</p> <p>●各自持参するもの：マイナ保険証か資格確認書、マスク（ただし作業中は別途作業用不織布マスクを配布します）、動きやすい服（使い捨てつなぎの下に着用する服、虫対策のため半ズボンやスカート等は不可）、帽子（サンバイザー不可）、水に濡れたり汚れたりしても構わない靴（サンダルやヒールのある靴は不可）、雨具（カッパ）、筆記用具、飲み物等。実習中に家畜糞尿に触れる可能性があります。ビニール手袋、作業用のつなぎ、長靴はこちらで用意します。</p> <p>※持ち物の詳細については受講者が確定し次第、個人宛にメールで案内しますので、<u>常時連絡の取れるメールアドレスを正確に記入してください。また、その際につなぎ及び長靴のサイズの確認と海外渡航歴の確認をします。必ず返信してください。メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。</u></p> <p>●注意事項：<br/>         ①様々な感染症の拡大状況、災害の発生や天候の状況（台風等）によっては、<u>開講の中止や内容の変更もあります。また受講希望者が5名以下の場合は開講を中止する場合があります。</u><br/>         ②授業の直前の時期に体調不良になったときは、<u>授業開始前に必ず下記の間合せ・連絡先まで連絡してください。体調不良の原因や状況によっては、その授業回に限り出席を見合わせていただくことがあります。</u><br/>         ③家畜伝染病（口蹄疫）の予防措置のため、<u>演習日前の2週間以内に海外渡航を予定しておられる方については受講を認めない場合がありますので、受講を申し込まれる前に問い合わせてください。特に演習日前の2週間以内に口蹄疫発生地域（中国・韓国等）からの帰国を予定されている方は受講できません。帰国がこれらの期間より前であっても、海外で使用した衣服や靴を農場内に持ち込むことはできません。さらに本演習前に国内の家畜農場や家畜関連施設（食肉センターを含む）に立ち入られた方またはその予定のある方も事前に下記までご相談ください。</u><br/>         ④演習中は決められた場所以外への出入りはできません。<br/>         ⑤広島大学構内（農場を含む）は全面禁煙です。</p> <p>●欠席・遅刻の通知方法：やむなく欠席・遅刻する場合は、所属大学学生係及び生物生産学部附属農場まで必ず連絡してください。</p> <p>【間合せ・連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島大学生物学系総括支援室<br/>             〒739-8528 東広島市鏡山1-4-4 TEL：082-424-4323<br/>             E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp</li> <li>・ 広島大学酪農エコシステム技術開発センター 准教授 黒川 勇三<br/>             〒739-0046 東広島市鏡山2-2965 TEL：082-424-7973<br/>             E-mail: yuzokuro@hiroshima-u.ac.jp</li> </ul> |                   |                   |
| <p>14. 社会人受講</p>   | <p>科目等履修生（単位付与）として受け入れ</p> <p>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</p>  | <p>可</p> <p>可</p> | <p>否</p> <p>否</p> |